

お仏壇には“生きる秘訣”がいっぱい

6号

2023年9月発行

仏教大好き職人がお届けする

まごころなまむしとー

【お仏壇のご本尊】 9月には秋のお彼岸(20日~26日)を迎えますね。

煩惱(欲)にまみれた私たちの世を此岸、対して悟りの世が彼岸。今回は、彼岸におられる「仏さま」についてのお話しです！音羽屋では仏教の教えで「生きるヒント」を、ご先祖さまからは「生きるチカラ」を、お仏壇を通してイキイキした生き方をお届けします！



代表 山縣 俊二
(あだ名はヤマケン)

えっ!?! 仏さまにランキング?

仏さまのランクの違いは「**煩惱**」。煩惱100%の私たちに
対し、最高ランクの如来は煩惱ゼロ。煩惱が無いので、イライラしないし怒らない。人目も気にならないのでお洒落に興味がなく、寒い暑いも気にならない。ランクで違いを見てみましょう！

ランク順	如来	菩薩	明王	天	人間
代表的	阿弥陀如来	観音菩薩	不動明王	弁財天	ヤマケン
煩惱指数 (当社比)	0%	0.001%	0.01%	0.1%	100%
いたずらされた 時の表情	穏やか~	ほほ穏やか~	怒ってる!	怒って、 こらしめる!	ぶちぎれて、 仕返しして根に持つ!
服装の オシャレ	布切れ一枚の 薄着	ちょっとアクセサリ	アクセサリ & 小物	服装が華やかで カッコいいポーズ	他人と比較して 競い合う!

あえて欲を残してる?

菩薩はすぐに煩惱をなくして如来になれるけど、周りがまだ煩惱があって悟りの域に達していないので、自分も少し残しておこうとアクセサリをつけている優しい仏さま。例えば、学校で規則違反しているグループに気付かせるために、あえて自分も同じ格好をして過ごす。ある時、1人が注意されて、やっぱり良くないと気付いてみんなが違反をやめていく。この時の叱られ役が菩薩なんです。



仏壇の仏さまはな~に?

お仏壇の中には宗派によって、それぞれの仏さま(御本尊)が祀ってあります。浄土真宗は阿弥陀如来、曹洞宗は釈迦如来、真言宗だと大日如来。お参りの時には、仏さまの表情や恰好をみて、煩惱ゼロのお手本にするのもいいかも。ランク表を見ながら、仏像めぐりしてみると面白いですよ!



◆お仏壇の修理・掃除・洗浄・塗替え・買換え・移動・保管・処分 ◆お仏具・お数珠・寺院関連・おみこし・掛軸などの修復



お知合いでお仏壇のことで
お困りの方がいらっしゃれば
ご紹介ください!

毎日更新中ブログ

◆広島県全域対応◆出張お見積り無料



広島市中区舟入南3丁目13-1 FAX 082-942-0526

仏壇 音羽屋 検索

〈お問合せ〉受付/午前8:00~午後7:00 TEL 082-231-3721

今回の「南無レター」はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想をどしどしお寄せください。ご連絡用LINEからメッセージを頂けると嬉しいです! こちらからどうぞ



ご先祖秘話 ヒストリア!

今回は本通り商店街(広島市)の清水勝次さん(78)をご紹介します! 清水家は明治10年より続く洋服店。この度、修復させてもらったのは戦後のお仏壇と100年以上前の御本尊。清水さんから「大切なモノが分かる時」を教えてくださいました。



明治創業から戦争へ

清水洋服店の創業は、曾祖父の代にさかのぼります。明治初期、スーツを着ている人はいません。作り方すら知らない創業者は一着のスーツを解き、型を取り、古布を使って仕立てることからスタート。時代とともにお店は繁盛。しかし、昭和20年、広島に原子爆弾が投下。まちは一気に焦土と化します。清水さんのお父さんは広島駅前の橋で自転車に乗って被爆。お店から離れた所で、後ろを向いていたことから命は助かりますが、背中に大やけどを負います。



当時のお話しをする清水様ご夫妻

仏さまだけは

お父さんは大やけどで寝たきり。お母さんは、重症の夫と幼い清水さんたち兄弟を連れ、病院の近くへ馬車で引越。翌日にはあの枕崎台風が直撃した為、一日でもズレていたらお父さんの回復は困難でした。数日後、疎開していた清水さんのおばあさまが、息子であるお父さんに会いに来ます。「なにかあったら仏さんは持って逃げなさい!」常々そう仰っていたおばあさま。そのお陰で御本尊を大切に抱えて逃げ、助かった仏さま。残念ながら、息子と再会した数日後におばあさまはお亡くなりになります。



過去帳・家系図・100年以上前の御本尊

仏さまに救われた命

「母から仏像のことは聞いていました。父は、仏さんに救われたと言っていました。」そう話して、清水さんは仏壇に手を合えます。もしも、私たちが家から逃げ出さないとはいけない時、必ず持っていくモノ。それは何でしょう。何を大切に生きているかを次世代に伝えるには、そこに答えがあるように感じます。あなたは子や孫に何を伝えたいですか? 清水家で仏像と一緒に持ち出されたものがもう一つ。日本でも数少ない神さまのお話しは、また今度。



上の「檀懐」は、お父様がお世話になった校長先生が書かれた字

ご本尊を繋いでいく

お仏壇のなかで、最も大切なのがご本尊の仏さまです。代々のご先祖は、よい時も大変な時も仏さまに手を合せてこられました。その仏さまは、その家の様子をずっと見守ってきた存在。どんな時も救われてきたからこそ、ご先祖からのいのちが繋がって、今、手を合せることができるのがわたし。その尊い感謝の気持ちが、生きるチカラになります。最近では、「仏壇が大きすぎて引き継げない」というご相談をお受けします。その際、ご本尊の仏さまだけでも残しませんか? とご提案させていただきます。ご本尊をそのまま引き継いで、本体の縮小リメイクや小型仏壇への買い替えも出来ます。次世代への引き継ぎでお悩みがございましたら、お気軽にご相談ください。やはり、仏さまだけはホットケないですよ。な~む~



永明寺(福岡県)

安心して
救われて
ますよ

今回のテーマに沿った
お寺の掲示板